

【科目名】園芸療法のための医療・医学		
【期 別】前期（4～8月）	【区 分】必修	【種 別】講義
【単位・コマ数】2単位15コマ	【時間数】22.5	
【主任教員】○平野[竹村]文男（7）		○は成績評価者
【分担教員】柿木 達也（3） 加藤 順一（2） 木下 彩栄（3）		
【授業のねらい】 園芸療法を行うにあたりクライアントの病理と治療を理解する。 園芸療法と関係が深い脳科学について理解する。		
【担当教員】	【授業予定】	
平野 文男 6/17（土）1-2限 7/1（土）1-5限	① 医療・医学概説（1コマ） 医療従事者の倫理観、医療がどのように変わってきているか、医療に関する法律、保健制度などについて解説します。 ② 身体病理・薬理（6コマ） 園芸療法の対象となる人の疾患の病理と薬理について解説します。具体的には、脳血管疾患、虚血性心疾患、骨粗鬆症、糖尿病、悪性腫瘍などです。また、植物・昆虫との接触時に起こる可能性のあるアナフィラキシー、接触性皮膚炎なども取り上げます。	
木下 彩栄 6/17（土）3-5限	・ 大脳の構造と機能 ・ 脳幹の構造と機能 ・ 小脳の構造と機能 ・ 脊髄の構造と機能などを、症状や疾患とからめながら概説する	
加藤 順一 7/15（土）1-2限	・ 老年医学総論（1）老年者の身体生理と病理 ・ 老年医学各論（2）老年者の疾患とその特徴 疾患治療と薬理 リスク管理について 高齢者の食と栄養 実習：介護と嚥下について	
柿木 達也 7/15（土）3-5限	・ 日本の高齢化の現状と将来の状況 地域包括ケアシステムの理解 ・ 現在の認知症施策を理解する、新オレンジプランについて ・ 認知症観の変遷、認知症の捉え方の変化 ・ 認知症の現状と今後の状況 ・ 認知症における認知機能障害 ・ 認知症の診断と疾患別理解 ・ 治療および進行抑制の考え方 ・ BPSDの理解と対応 ・ 4 DASについて ・ 予防の考え方 ・ 認知症は「不幸」ではなく「不便」 ・ 不便の支援「そっと・やさしく・さりげなく」と認知症人生の応援	
【購入図書】		
平野 文男：	・「新訂版 クイックマスター病理学」（堤 寛、サイオ出版、2015 年、3,456 円） ※教科書は、講義で使います。	
【予習課題】		
平野 文男：	・ 講義一週間前に、配布する。 ハンドアウトのカッコ内をテキストを見て記入しそのハンドアウトを読んでおいてください。	
木下 彩栄：	・ 脳の解剖学的構造について理解しておいてください。	
柿木 達也：	・ 学ぶ前の自分の中にある認知症の理解を考えてみる ・ 講義を聞いた後の自分の中での認知症の理解がどう変化したかをまとめる。	
加藤 順一：	・ 加齢と身体機能について	

【参考図書】	
平野 文男：	・「生命倫理と医療倫理 改訂3版」(伏木信次ら編、金芳堂、2014年、2,808円) ・「わかりやすい公衆衛生学 第4版」 (清水忠彦、佐藤拓代編集、ヌーヴェルヒロカワ、2015年、2,376円) ・「イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき 第2版」 (田中越郎、医学書院、2011年、3,240円) ・「イラストでまなぶ解剖学 第2版」(松村譲児、医学書院、2009年、2,808円) ・「イラストでまなぶ生理学 第3版」(田中越郎、医学書院、2016年、2,808円)
木下 彩栄：	・「ぜんぶわかる脳の事典」(成美堂出版)
【成績評価の方法】	
平野 文男：	出席、予習課題、レポートなど総合的に評価します。
【受講生への希望】	
平野 文男：	講義は、6月17日(SAT.)及び7月1日(SAT.)に、行う予定ですが、1日ごとに<希望・感想>及び<質問>を私あてにe-mailにて次のaddressまでお送りください。 [hgd77801@hcc6.bai.ne.jp] 可能な限り、皆さんのご希望を講義に反映していきたいと思います。皆さんからのご質問は、情報の共有化という観点から、受講者全員にお答えをe-mailで、お送りするようにします。私の講義に対するポリシーは、“明るく、楽しく、全員参加の講義”です。興味のあるもの、好きなものに対して、人間は信じられないほどの力を発揮できると思います。また、明るく、楽しいもののほど興味をひかれ、好きになるように思います。がんばって参りましょう。皆さんと、講義でお会い出来ることを楽しみにしております。
柿木 達也：	次のことをねらいに授業を行います。 1. 日本の高齢化の現状と今後の状況について理解する 2. 「新オレンジプラン」と「認知症観」の変遷と転換について理解する 3. 4つの代表的認知症の特徴を理解することとおして認知症の正しいイメージをつくる 4. 認知症の生活上の不便を疾患別に理解する。「もし自分が認知症になったらこんなことで困るだろうからこんな支援をしてほしい」といった当事者の視点がイメージできる 5. 認知機能障害・生活障害・身体障害・BPSDの4つの側面から認知症を理解できる(4DAS) 6. 予防と早期発見と早期支援の一連の重要性を理解する
加藤 順一：	講義の中で各人の体験経験を振り返り、実習もとりいれることで再認識することが、社会人として成長できるよう講義します。
木下 彩栄：	脳の不思議さに関する一般書などを読み、脳に興味を持ってください。ラマチャンドラン「脳の中の幽霊」(角川文庫)などはお勧めです。